

高齢者のこころの健康に関する社会疫学研究



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科

理学療法コース 准教授

佐藤 正司 Sato Masashi

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)



キーワード: 健康の社会的決定要因・健康格差・社会経済的状況・ソーシャルキャピタル・ゼロ次予防

研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 11: 住み続けられるまちづくりを

一般的に、日々の生活習慣がこころの健康に影響を及ぼすことは広く知られている。高齢期になれば長年に及ぶ生活習慣の蓄積により、さらに影響が大きくなると考えられる。その生活習慣に影響を及ぼし、かつ介入可能性が高い「社会的要因から改善を試みる」というゼロ次予防の取り組みが注目されている。そこで、各個人レベルの社会経済的状況とこころの健康との関連について検証した。先行研究では社会経済的状況として教育歴、職業、所得のいずれかと検討することが多い。本研究では、教育年数、キャリアの中で最も長期間従事した最長職、同居世帯の人数を考慮した等価所得、および等価資産との関連を検証することで、より具体的で、複数の要因を考慮した分析を進めている。

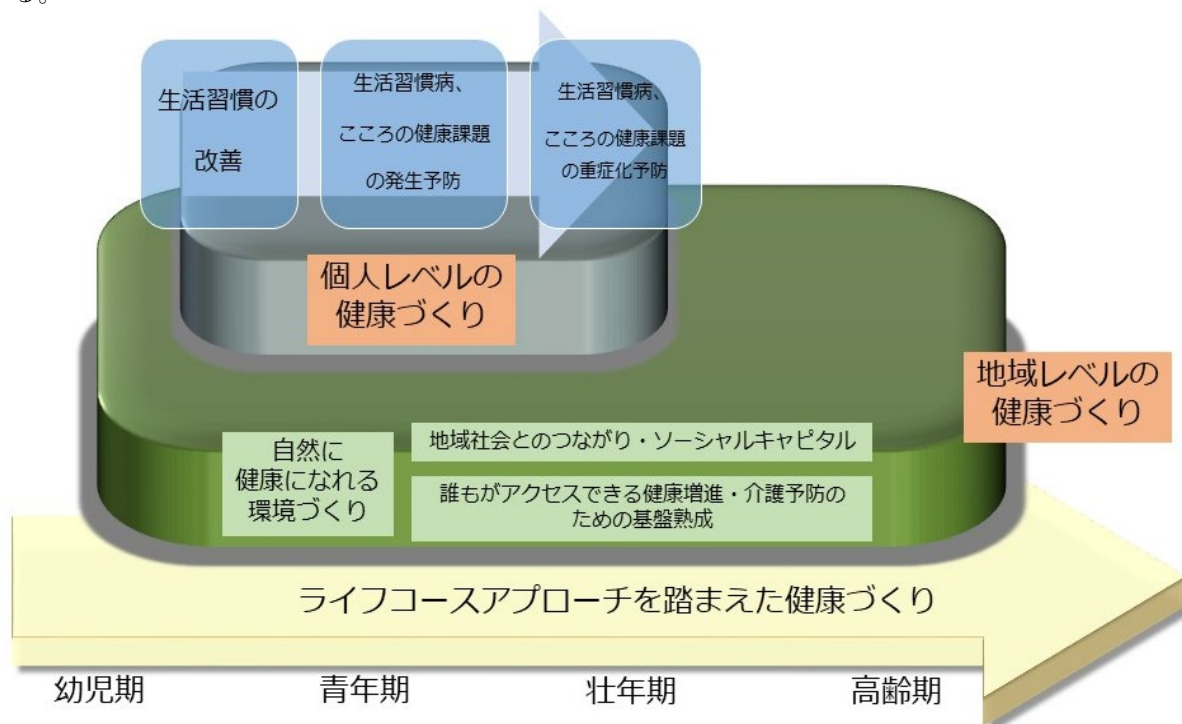


図 健康日本 21 (第三次) を見据えた健康づくり

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

近年、高齢者のこころの健康維持のため、就労による社会参加が推奨されている。しかし、全ての高齢者に対し効果的かは不明瞭であり、教育歴や得られる所得、職種などの社会経済的状況により異なる可能性がある。高齢者雇用を推進する自治体や関連機関の皆様や政策立案に関わる方々の一助となれるように研究を進めていきたい。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【論文】・「新型コロナウイルス感染下でも「人とのつながり」は必要」

・「Socioeconomic status and incident depressive symptoms among older adults:
A 3-year longitudinal study from the Japan Gerontological Evaluation Study」

【学会発表】・「高齢者における社会経済的状況とうつ発症との関連」